

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	福祉用具学演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年生	学期	前期	教室名	基礎医学実習室
担 当 教 員	吉岡 有理亜				
実務経験と その関連資格	吉岡:作業療法士としてさつき訪問看護ステーション、鶴見緑地病院(身体障害領域)に勤務。 作業を用いたリハビリテーションに従事。臨床実習指導者研修修了認定、MTDLP基礎研修修了。 インテリアケアプランアテンダント認定講師。				
《授業科目における学習内容》					
作業療法士として福祉用具を用いた支援方法について考える力を習得する。疾患ごとに適切な福祉用具を選定する力を習得する。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート 100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
日常生活活動・社会生活行為学 第2版 医学書院					
《授業外における学習方法》					
教科書や授業資料をつかって講義を行いますので、予習や復習をしてください。					
《履修に当たっての留意点》					
疾患特性をよく理解し、それに対応した自助具の選定ができるよう、2年生で学んだ知識をしっかりと復習してください。					
第1回	授業を通じての到達目標	自助具・福祉用具について理解できる。	教科書・資料	授業範囲の疾患特性	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業計画・展開の説明) 作業療法士が自助具・福祉用具を使ってどのように支援していくのか説明できる。			
第2回	授業を通じての到達目標	移動に関する福祉用具について理解できる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性	
	各コマにおける授業予定	移動に関する福祉用具の使用方法、疾患別の考え方。			
第3回	授業を通じての到達目標	移動に関する福祉用具について理解できる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性	
	各コマにおける授業予定	移動に関する福祉用具の使用方法、疾患別の考え方。			
第4回	授業を通じての到達目標	上肢機能に関する福祉用具について理解できる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性	
	各コマにおける授業予定	上肢機能に関する福祉用具の使用方法、疾患別の考え方。			
第5回	授業を通じての到達目標	上肢機能に関する福祉用具について理解できる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性	
	各コマにおける授業予定	上肢機能に関する福祉用具の使用方法、疾患別の考え方。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	事例検討。活動分析による症例像の問題点抽出。自助具・福祉用具の選定ができる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性SOAP
	各コマにおける授業予定	事例検討を進める。活動分析。レポート作成。		
第7回	授業を通じての到達目標	事例検討。活動分析による症例像の問題点抽出。自助具・福祉用具の選定ができる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性SOAP
	各コマにおける授業予定	活動分析から考察を深める。レポート作成。		
第8回	授業を通じての到達目標	事例検討。活動分析による症例像の問題点抽出。自助具・福祉用具の選定ができる。	教科書・資料・福祉用具	授業範囲の疾患特性SOAP
	各コマにおける授業予定	活動分析から考察を深め、問題点の抽出。自助具・福祉用具を選定する。レポート提出。		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			